

○事業所名	ハグマグ		
○保護者評価実施期間	令和7年1月15日		～ 令和7年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	令和7年1月15日		～ 令和7年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月17日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々の様子を、ご家族の方々と共有できている。	送迎時などにその日あったことをお伝えしています。 トラブルがあれば詳しく説明し、良かったこともお話し、帰宅後に家族とのコミュニケーションが持てるようなお話を心がけています。	活動中の写真を定期的にお渡ししています。口頭だけではなく、目で見てどんな様子で過ごしているか知っていただけるツールになっています。
2	個別支援計画やモニタリングなど、支援内容について共通認識が持てている。	個別支援計画作成の際には、保護者の方とお話をさせていただいています。	これまで以上に保護者の方とのコミュニケーションを密にし、話しやすい事業所とっていただけるよう取り組んでいきます。
3	利用児童が楽しみを持って通所できている。	個々の好みを把握し、楽しめるものを用意したり、また、他児童とも関わる時間を持てるようにして、コミュニケーションスキルの向上を図っています。	得意な事だけでなく、苦手な事にも取り組み、自信につながるような支援をしていきます。特に、学校行事など苦手な事がある児童には、事前に練習してみたりして、少しでも苦手意識が減るような働きかけをしていきたいと思っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	避難訓練が定期的に行われている事が知られていない。	SNSやお便り等で避難訓練の様子を掲載しているが、頻度はあまり高くないため、目に留まりづらい可能性がある。	「見てみたい」と思っていただけるようなSNSやお便りになるよう、今後も工夫を重ねていきます。
2	児童館との交流や、父母間の交流がない。	児童館へ出掛ける機会がないこと。 保護者同士が顔を合わせる機会はほとんどなく、そのため話をする機会がない。	長期休み等を利用して、地域の他の児童とも交流が持てるようにしていきたいです。 今後、事業所のイベントなども再開し、その場で指導員も交えて保護者同士の交流を深めていただきたいと考えています。
3	ペアレントトレーニングが可能な事が知られていない。	現在、ペアレントトレーニングが出来る指導員が限られているため周知はしてこなかった。	今後は、利用者の方々に知っていただけるような発信を考えていきます。